

学校評価アンケートの結果から

大府中学校では、2学期に学校評価アンケートを実施しました。アンケート集計ができましたので、アンケート結果やご質問等から主だった項目についてお知らせします。なお、アンケート結果につきましては裏面を参照ください。

○楽しい学校・進んであいさつについて

・「学校が楽しい」「友達や先生に進んであいさつできる」を肯定的にとらえる割合が高いです。どちらの項目も90%を超す割合となっています。生徒の意見では、「学校の外だけでなく、校内や昇降口でもあいさつ運動をしていけるとよい。」といった前向きな意見が出されていました。生徒会のあいさつ運動の機会に加え、毎日の校内でのあいさつが生徒同士、教師と生徒の間に広がるように、教師が率先してあいさつをしていきたいと思えます。

○生徒理解について

・「先生は気軽に相談できる」「こどもは先生に気軽に相談できると感じている」の項目では、生徒は約78%、保護者は約67%の割合となっています。昨年に比べ増加してきています。教師は生徒にとって身近な大人です。生徒の思いを受け止め、支える存在になれるよう、今後も教師から進んで声をかけたり、生徒の様子の変化に気づいたりすることができるようにしていきたいと考えます。また生徒が、担任以外の教師にも相談できるように、相談体制を整えていきます。

○間違っただ行動に対する指導について

・生徒・保護者・教師ともに約88%を超しており、肯定的にとらえている項目です。今後も全教員が、生徒の自律につながる指導を心がけていきます。

○社会のルールやマナーを守る態度について

・生徒・保護者ともに約97%の高い割合で意識している項目です。生徒指導担当や担任からは、学年集会や学級活動を通じての中で、善悪の判断について話をしています。その他、交通マナーについては、自転車の乗り方や歩行のあり方について地域からご指摘をいただいています。生徒が周囲の方のことを考えて行動できるよう、今後も継続して指導にあたります。

○学校行事への積極的な参加について

・生徒は昨年度と同等で86%、保護者は93%と高い割合の項目です。今年度はコロナ感染症予防を踏まえた計画のもと行事が実施されました。生徒・保護者ともに、学校行事を通して、充実した学校生活を望んでいます。感染症に配慮しつつ、可能な限り、活動を工夫して実施していきたいと考えます。またICTを活用して、保護者に向けて生徒の活動を知ってもらう機会をつくっていきたいと考えます。

○ICTによる教育活動について

・生徒は電子黒板やタブレットPCを使った授業を楽しみにしています。今年度途中に、一人一台のタブレットPCも配備されました。ICT機器を有効に活用した授業を展開し、学習の成果を高められるようにしていきたいと考えます。

〇学校評議員より、ご意見をいただきましたのでお知らせします。

- ・学校は楽しいと感じる生徒が多いのはとてもよいことです。将来の希望や夢がもてるようになってほしいと思います。
- ・生徒の個性が発揮できるように、学校教育の場で育んでいけるとよいと思います。
- ・ボランティア活動に取り組むことで、リーダーシップが備わっていくと考える。今後も学校外で、貴重な体験をさせ成長して行ってほしいと思います。
- ・交通マナーについてはもっと大人が手本を見せていかなければならないと思います。